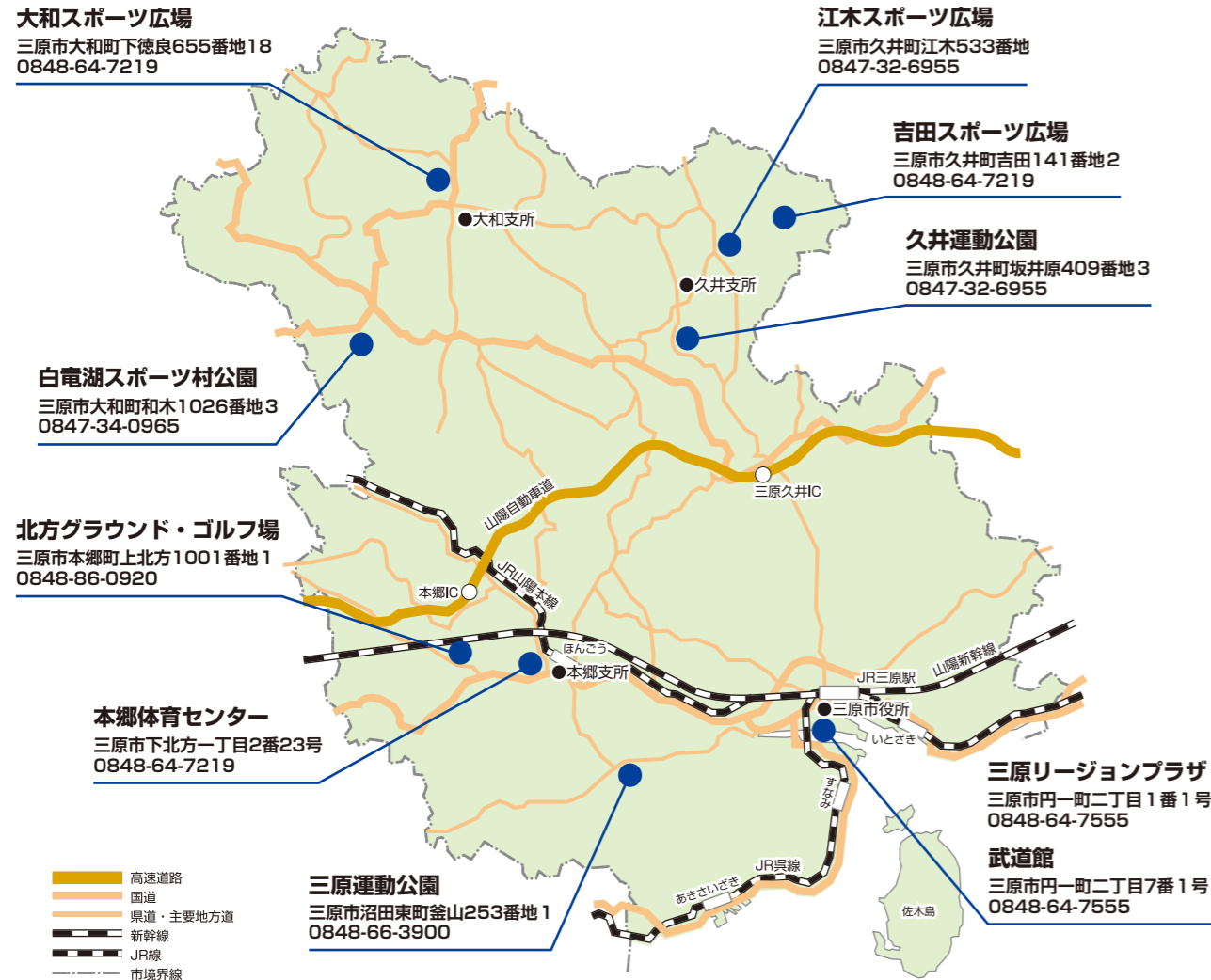


# 計画の目標

目 標	平成28年度 実績値	平成38年度 目標値
週1回以上・30分以上のスポーツの実施頻度	44.6%	65%
ほとんどスポーツや運動をしてない人の割合	37.6%	20%
全国大会への個人出場数	48人	100人
全国大会への団体出場数	15団体	20団体
市内における大規模スポーツ大会及びプロスポーツ興行の開催件数	7件	10件
公共スポーツ施設の利用満足度 (「大いに満足している」+「満足している」の回答率)	56.3%	75%

# スポーツ施設マップ



三原市教育委員会スポーツ振興課  
〒723-0014 三原市城町一丁目2番1号  
TEL 0848-64-7219 FAX 0848-67-5912



# 三原市スポーツ 推進計画

概要版

平成 29 年  
三原市教育委員会

## 計画策定の趣旨

本市では、「市民ひとり、1スポーツ」を理念に掲げ、多くの側面をもつスポーツのどこかに市民一人ひとりが主体的に関わり、スポーツを通じて三原市に住む全ての人々が世代や性別を越えてふれあうことのできる社会を目指してきました。

しかし、近年わが国では、ライフスタイルの変化、価値観の多様化といった社会環境が大きく変化し、これらの生活様式の変化により、日常生活で体を動かす機会の減少とそれに伴う体力の低下や、精神的ストレスの増加等、心身両面における健康上の問題が生じています。

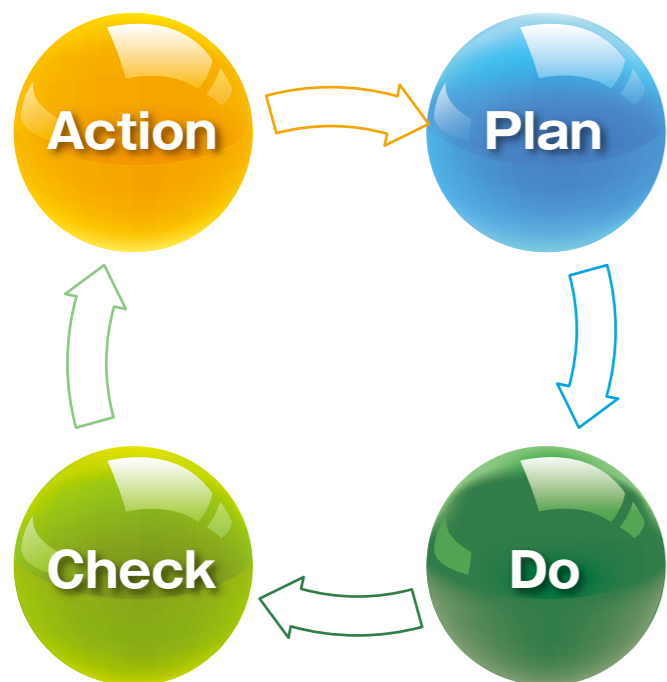
このような、社会情勢やスポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、人々のスポーツに対する社会的ニーズへの対応、三原市におけるスポーツ活動の更なる活性化を図るために、「三原市スポーツ推進計画」を策定しました。

## 計画の期間

計画の期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とし、5年後に見直しを行う予定です。

## 推進体制

庁内関係課、国や県、スポーツ関係団体、地域団体、民間企業、教育機関等と連携し、人材の活用、情報の共有等を図りながら計画を推進します。



## 計画の進行管理

スポーツ関連事業を効果的に推進するため、計画(Plan)・実施(Do)・評価(Check)・見直し(Action)というPDCAサイクルを確立し、継続的に改善を図ります。

## 三原市におけるスポーツ推進のイメージ

本計画では、自らが身体を動かす「するスポーツ」、観戦などの「みるスポーツ」、そしてスポーツ指導やボランティア活動といった「ささえるスポーツ」に着目し、それぞれの観点から、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージや適性に応じて、様々な関わり方でスポーツに親しむことができるようにスポーツ施策を推進します。



# 具体的な施策

## 基本方針① ライフステージに応じたスポーツの推進

すべての人がいつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツを楽しむことができるように、ライフステージに応じたスポーツの推進を図るとともに、「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の情報提供や、スポーツに親しみを持つ環境づくりを行います。

### 施策1 スポーツ情報の充実

- スポーツに関する市民意識の啓発
- 潜在層への働きかけ
- 多様なメディアでの情報発信
- 「みるスポーツ」の充実
- 「ささえるスポーツ」の啓発



### 施策2

#### スポーツ活動を始め、継続できる環境づくり

- 興味をもったら始められる受け皿づくり
- 市民が気軽に参加できるスポーツ教室の開催
- ライフステージに応じたスポーツの開発・普及
- 健康のためのスポーツ推進
- スポーツを継続的に楽しめるグループづくり・支援



### 施策3 誰もがスポーツ活動に親しむことができる環境づくり

- 幼児期に運動習慣をつける環境づくり
- 学校と連携した体力・運動能力を向上する環境づくり
- 成人や子育て世代がスポーツを行える環境づくり
- 高齢者がスポーツを行える環境づくり
- 障害のある人が目的に応じてスポーツを行える環境づくり
- 幅広い年齢層が参加できるスポーツ大会の開催



## 基本方針② 競技スポーツの推進と活動支援

本市出身の選手が様々な場で活躍するために、質の高い指導者を育成・確保するとともに、競技団体や学校等様々なスポーツの場で活躍できるように支援を行います。

また、競技団体だけでなく、民間企業や大学等、スポーツに関わる様々な人々との連携・交流により、「ささえるスポーツ」の活動の充実を目指します。

### 施策1 スポーツの競技力の向上

- 競技スポーツの推進
- スポーツ競技人口の底辺拡大と技術及び競技力向上
- スポーツ表彰制度の推進

### 施策2 スポーツ指導者の育成

- スポーツ指導者の確保
- 正しい知識と技能を修得した指導者の養成
- スポーツ推進委員の活動充実

### 施策3 スポーツ支援者の養成と関係団体への支援

- スポーツ支援者の養成と確保
- スポーツ支援活動の推奨
- 多様な団体との連携強化

## 基本方針③ スポーツ環境の整備・地域の活性化

人々が日常のなかで気軽にスポーツを行うことができるように、地域におけるスポーツ施設の整備を進めるとともに、その利便性の向上やスポーツ施設の効率的な利用を図り、市内のみならず、市外からの利用を促します。

また、本市における大会の開催や合宿等の利用を支援・促進し、スポーツを通じた市内外の人々との交流を深め、地域活性化を図ります。

### 施策1 地域におけるスポーツ活動の推進

- 総合型地域スポーツクラブの育成支援
- 地域のスポーツ団体の活動支援
- 学校・地域・各種競技団体の連携

### 施策2 スポーツによる地域活性化

- スポーツ大会等の開催・支援
- 市外からの合宿等の利用促進
- 地域内外の交流の充実
- 地域活性化の促進

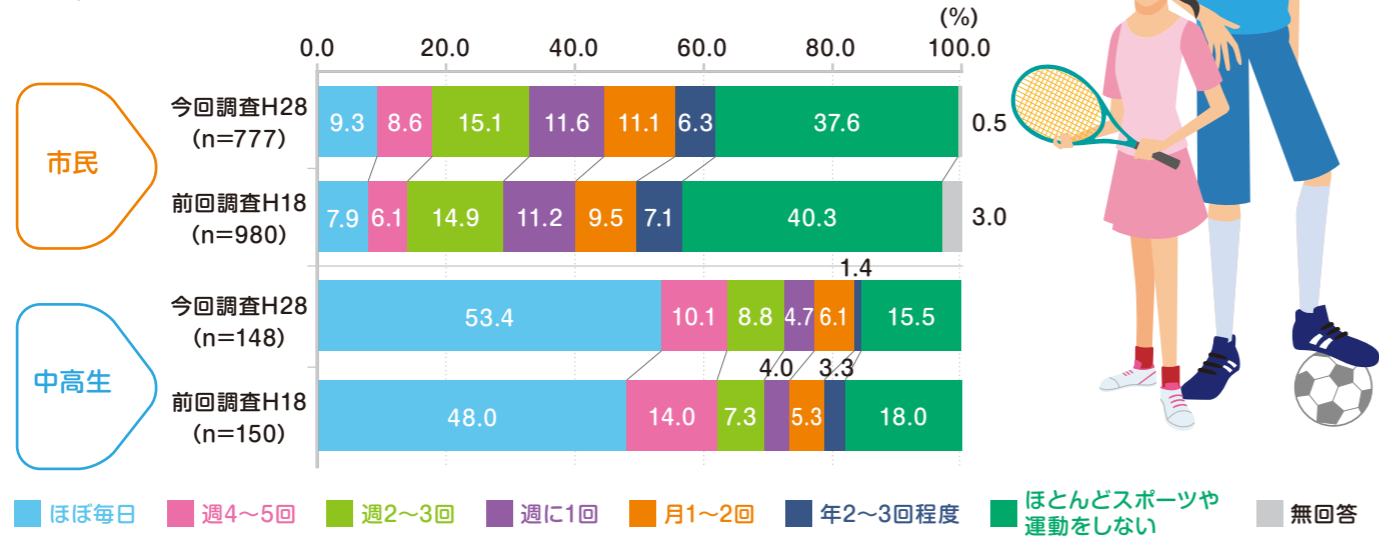
### 施策3 スポーツ施設の整備・充実

- スポーツ環境の整備
- 既存施設の整備改修
- 施設の利用環境の改善・利用促進
- 学校体育施設の活用
- 指定管理者制度の導入

# アンケートの調査結果

## スポーツの実施状況

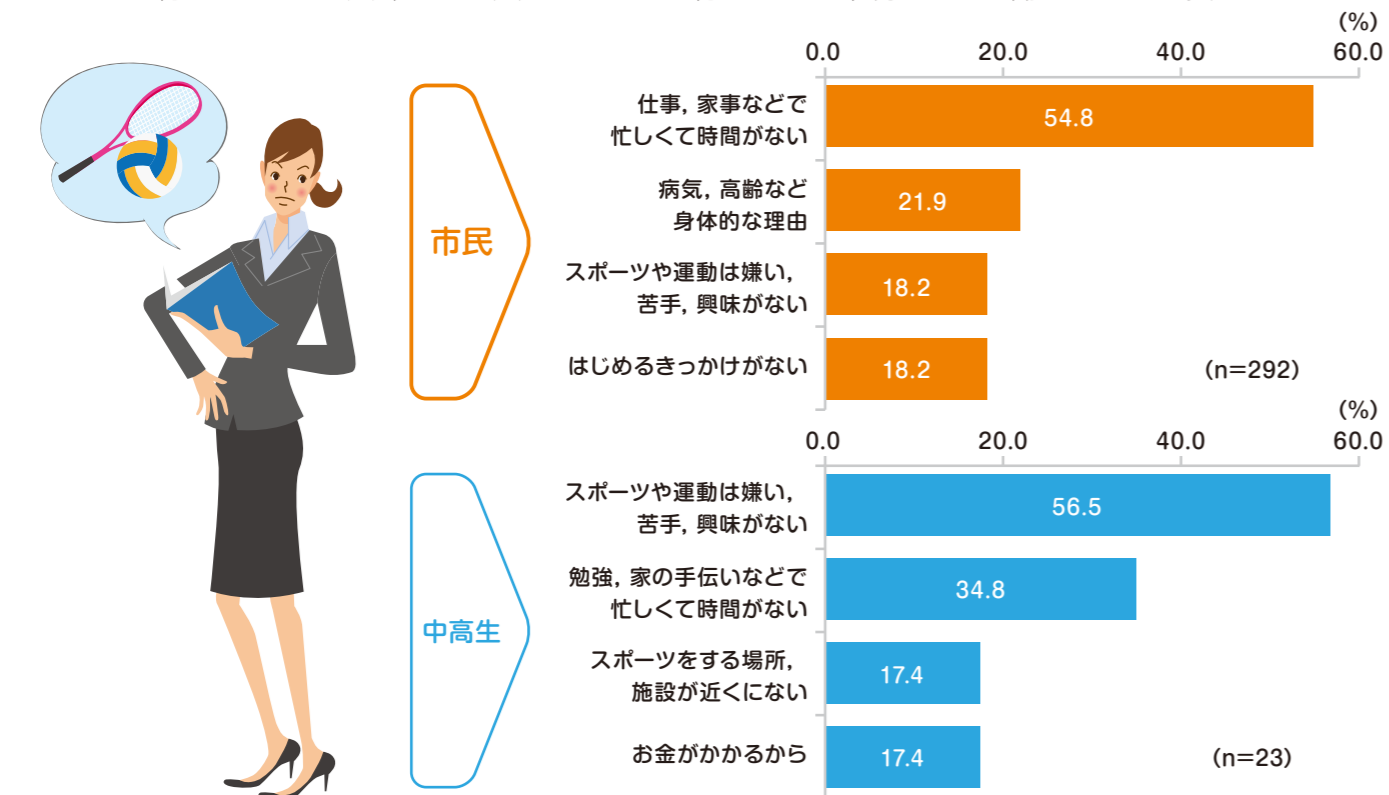
市民や中高生のスポーツ実施頻度はやや高くなっており、今後もより一層、スポーツの習慣化を進めていく必要があります。



## スポーツをしていない理由

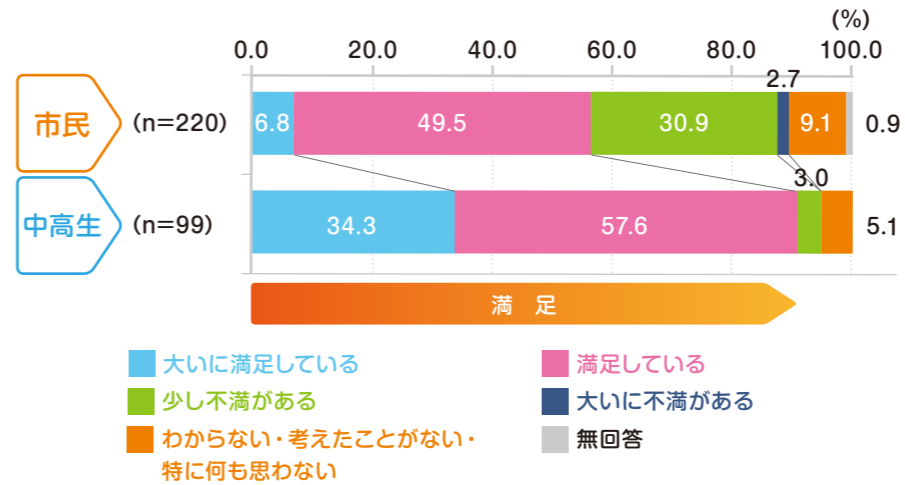
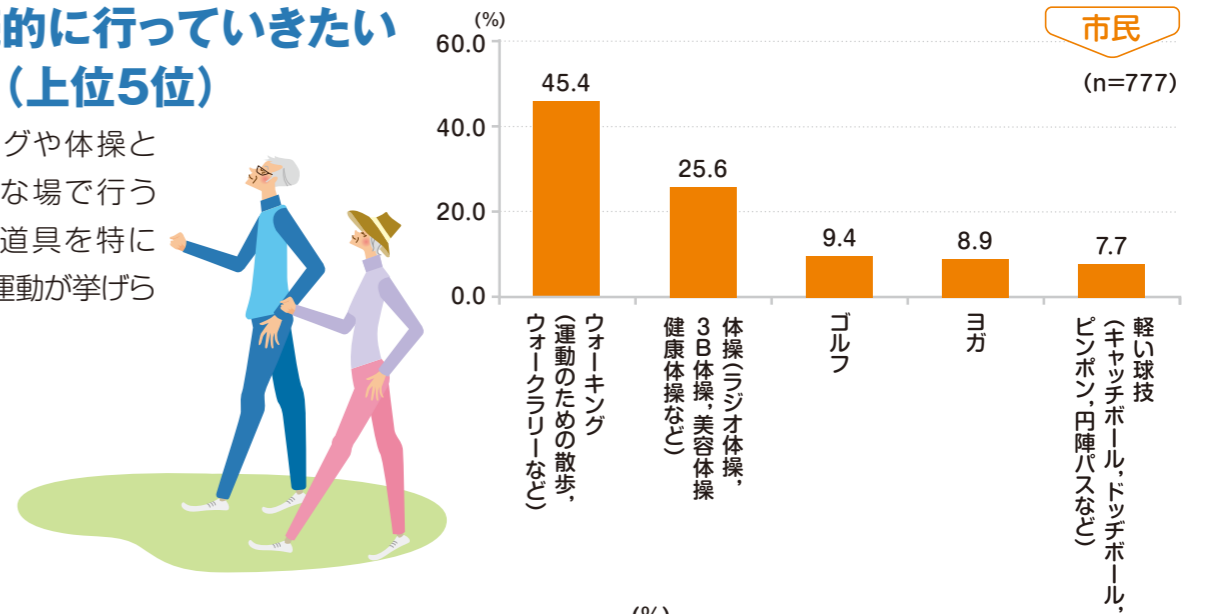
市民はスポーツや運動を行う時間を持つことができず、中高生はスポーツや運動への関心が低くなっています。

スポーツを実施・継続するために、多様なライフスタイルへの対応や施設の整備が必要です。また、スポーツを行っていない・興味のない人がスポーツを行うための環境づくりや働きかけが重要です。



## 今後継続的に行っていききたいスポーツ(上位5位)

ウォーキングや体操といった、身近な場で行うことができ、道具を特に必要としない運動が挙げられています。



## 公共スポーツ施設の満足度

公共スポーツ施設については、利用満足度が高くなっており、特に中高生は9割以上が満足としています。

## 今後のスポーツ振興で重要なこと(上位9位)

今後、本市におけるスポーツ振興で重要なことについて、市民、中高生ともに「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」、「スポーツ施設の整備」が挙げられています。加えて、市民では「年齢層にあったスポーツの開発普及」と「スポーツに関する広報活動(情報の提供)」も重要であると考えられています。

